

経営発達支援事業

外部評価委員会報告書

令和6年度

館林商工会議所

1. 外部評価委員会の目的

当所では、平成28年4月に国（経済産業省）より認定されました「経営発達支援計画（一期目）」を基盤として、地域の小規模事業者の持続的発展を目指すため、事業者に寄り添った伴走型の経営支援を推進してまいりました。

令和3年3月26日には、二期目となる「経営発達支援計画（令和3年4月～令和8年3月）」の認定を受け、伴走支援の更なる強化を目指しております。

国の指針として、年に一度、外部評価委員による事業評価を行い、経営支援の内容等について改善を図り、小規模事業者にとってより効果のある伴走支援を実施していくことと定められております。

当所の「経営発達支援計画」のこれまでの事業について実績報告し、今後の効果的な経営支援方法や改善点等について協議することを目的としています。

2. 外部評価委員会開催日

日時：令和6年10月2日（水）11時00分～

場所：館林商工会議所 役員会議室

3. 外部評価委員会出席者

■館林商工会議所 事務局（5名）

- 専務理事 鹿沼 義一
- 中小企業相談所長 川島 秀和
- 経営支援課長 相場 勉
- 経営支援課係長 古川 智哉
- 経営支援課 大澤 真

■館林市経済部商工課 事務局（2名）

- 商工課工業振興係長 渡邊 直人
- 商工課工業振興係 安島 美和

■外部評価委員（2名）

- 日本政策金融公庫前橋支店 国民生活事業 課長代理 小塚 泉氏
- 株式会社エイチ・エーエル 代表取締役 田村 嘉康氏

4. 経営発達支援事業の評価を行う項目

【経営発達支援事業の目標】

①小規模事業者数の維持

新しい販路開拓の支援を行い、地域経済を支えている小規模事業者の活力の維持を目指す。

②競合他社に負けない店舗作りの実現

顧客ニーズ・環境変化に対応した商品やサービス開発し、競合他社に負けない店舗作りを支援する。

③「館林のものづくり技術」の情報発信力強化

企業誘致・販路開拓に繋がる「館林のものづくり技術」の情報発信力強化を行い、新規商談成立を目指す。

④観光振興政策を活用した新規顧客獲得及び地域外流入額向上

館林市が実施している地域資源を活用した観光振興政策に合わせた店舗ごとのプロモーション活動強化を行うことで、地域外からの新規顧客獲得及び地域外流入額増加を目指す。

⑤自律的に経営課題に立ち向かう小規模事業者の輩出

創業から事業承継まで一貫して支援可能な商工会議所が身近なホームドクターとして支援することで、小規模事業者が日々抱えている経営課題を解決し、売上向上の取り組みに専念出来るようにする。

【I.経営発達支援事業の内容】

1. 地域の経済動向調査に関すること

景況調査分析結果や地域動向調査分析結果は、小規模事業者が事業計画書作成等を行う際の外部環境の根拠データとして活用する。

2. 需要動向調査に関すること

地域資源を活用した新商品・新メニューに関するマーケティング調査を実施し、市場ニーズにマッチした新商品・新メニューの開発支援を行う。

3. 経営状況の分析に関すること

意欲ある小規模事業者に対して、定量分析である財務分析と定性分析であるSWOT分析の双方を行い、経営分析結果をクラウド型経営支援システム「BIZミル」へ蓄積するとともに事業計画書策定の際に活用する。

4. 事業計画策定支援に関すること

必要に応じて専門家と連携しながら、各分析データ等を踏まえた事業計画書策定の支援を行う。

5. 事業計画策定後の実施支援に関すること

小規模事業者が策定した事業計画の着実な実行を支援するため、計画的なフォローアップを行う。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

小規模事業者の新規販路開拓を支援するために、展示会出展、ネットショップ立ち上げ、その他ITツール活用等の支援を行う。

5. 外部評価委員による評価基準

<p>A：計画目標を達成することができた</p> <p>B：計画目標を概ね達成することができた</p> <p>C：計画目標を半分程度しか達成することができなかった</p> <p>D：計画目標をほとんど達成することができなかった</p> <p>E：未実施</p> <p>※改善が必要な事項など意見については評価シートに記載する</p>
--

6. 外部評価委員による評価結果

項目等	意見・改善事項等	外部評価委員評価	
		委員①	委員②
1. 地域の経済動向調査に関すること	<p>委員① 地域診断サービスを利用するなど適切に実施されていると思います。目標を達成しており、継続して実施していただきたい。</p> <p>委員② 景況調査、RESASの取組みに関して、アウトプットされていることは評価します。今後、RESASの情報はマクロ的な内容を個社に深掘していただければ良いと思います。</p>	A	A
2. 需要動向調査に関すること	<p>委員① 商圏分析システムを利用するなど積極的な動向調査を実施できていると思います。親身な応対がフォローアップの増加につながっていると思います。</p> <p>委員② 調査後の支援内容と行動も今後お聞かせいただければ幸いです。</p>	A	A
3. 経営状況の分析に関すること	<p>委員① システムなども利用し、積極的に経営分析に取り組んでおられると思います。これからも継続して実施していただければと思います。</p> <p>委員② 目標に対して実績が上回っており良いと思います。引き続きその後の支援に繋がってください。</p>	A	A
4. 事業計画策定支援に関すること	<p>委員① 策定支援件数も目標を大きく上回っており、素晴らしいと思います。事業者様に寄り添う支援にいつも感動しております。</p> <p>委員② R5の実績について個別相談を実施されているということでセミナー回数より実際の実績として計画策定数が74件と評価できます。</p>	A	A
5. 事業計画策定後の実施支援に関すること	<p>委員① フォローアップの実績を見ても策定のみにとどまらず、継続支援されておられると思います。親身な応対がフォローアップの増加に繋がっていると思います。</p> <p>委員② 売上のアウトカムは最終目標ではあるかと思いますが、営業利益3%と経営者の自走化も含めてご支援ください。</p>	A	A
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	<p>委員① マッチングフェアの出展数も目標の数値を大幅に上回っており素晴らしいです。ITツールの活用についても積極的なサポートが売上に繋がっており、継続支援を実施していただきたい。</p> <p>委員② すぐに売上に繋げることは非常に難しいかと思いますが、ただ、事業者が商品・サービスをアウトプットすることが大切だと思います。</p>	A	A

7. 今後の改善事項等

今回の評価を維持出来るように、継続した伴走支援を展開していきます。

昨今、エネルギー高騰・物価高騰、賃上げへの対応など様々な事業環境の変化へ適応していく必要があり、地域内事業者の課題解決のために館林市とより密接な連携をし、支援体制を強化していきます。